

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 〒160-8309
 住 所 東京都新宿区西新宿1-8-3
 氏 名 小田急電鉄株式会社 印
 取締役社長 山木 利満
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	小田急電鉄株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市麻生区上麻生1丁目4番1号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	42	鉄道業
主たる事業 の内容	鉄道を使用した旅客輸送の運営		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		6,544 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	CSR・広報部 (環境担当)
		所在地	東京都新宿区西新宿1-8-3
		電話番号	03-3349-2504
		FAX番号	03-3349-2499
		メールアドレス	eco@odakyu-dentetsu.co.jp
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度（報告年度 平成22年度分）
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
備考	当社の地球温暖化対策の取組については、ホームページにて公表しています。 http://www.odakyu.jp/csr/index.html (CSRに関する取り組みのページ)

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	10,908 8,858 t-CO ₂	10,909 8,881 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	10,584 t-CO ₂
削減率		-0.01% -0.3% %	%	%	3.0% %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	延床面積		単位		t-CO ₂ /千㎡
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	90.72	87.47			88.03
削減率		3.6 %	%	%	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	猛暑により、夏季のエネルギー消費が伸びたものの、計画停電による、休業または部分休業の影響のほか、各事業所において空調の設定温度の見直しや照明設備の間引き点灯の実施、省エネ設備の導入を行なったため、温室効果ガスの増加を基準年度並みに抑えることができた(0.01%)。
第2年度	
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--	--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 推進体制の整備 ○ 主要設備の保守管理 ○ 空気調和の管理 ○ 高効率受変電設備の導入 ○ 照明設備の更新
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 空気調和の管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ ドライミスト設置による空調機の消費エネルギー削減。【新百合ヶ丘エルミロード】 ・ 店舗部と共用部の区画分けにより、運転時間の見直し等による使用頻度の低い空調の停止を行なった。【新百合ヶ丘エルミロード】 ・ 設定温度を28℃に設定。【新百合ヶ丘エルミロード】 ・ サーバ室内のアイルキャッピング化について、1階部分の全ての工事が完了した。【小田急ICTセンター】 ○ 照明設備の運用管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 売場区画と後方区画における、照明の点灯を施す区画の限定と調光による減光又は消灯を行なった。【新百合ヶ丘エルミロード】 ○ 業務用機器の効率管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場照明の時間管理、空調機器の17別適切管理を行なった。【新百合ヶ丘エルミロード】 ○ 新設、更新等における処置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外構照明設備の保守性を考慮した施設を導入した。【新百合ヶ丘エルミロード】
	第2年度	
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	定量化できる取組みはありません。
第1年度	定量化できる取組みはありません。
第2年度	
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1 グリーン購入の推進 2 廃棄物の減量化・分別化の推進 3 テナントへの環境負荷低減の教育と要請 4 黒川地区、向ヶ丘遊園跡地の里山保全活動の実施
第1年度	<ol style="list-style-type: none"> 1 グリーン購入の推進 再生紙購入を推進した。 2 廃棄物の減量化・分別化の推進 事務用品の無駄な利用削減による廃棄物の減量化や、リサイクルに向けての呼びかけ運動を行なった。 3 テナントへの環境負荷低減に関する教育の作成 店長会や、当社従業員の巡回時に環境活動啓発を行い、廃棄物の分別化推進などの指導を行なった。 4 里山保全活動などの地域活動 麻生区主催の美化活動への積極的な参加や、周辺の花壇や歩道などのゴミ拾いなどの活動を行なった。
第2年度	
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	10,105	t-CO ₂
(調)	8,688	

(2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
新百合ヶ丘エルミロード	川崎市麻生区上麻生1-4-1	6911	貸事務所業	5,170 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
アコルデ北館	川崎市麻生区万福寺1-17-1	6911	貸事務所業	1,485 t-CO ₂
小田急ICTセンター	****	4209	管理、補助的事業	1,039 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	0
300～400k1 未満	1
200～300k1 未満	2
100～200k1 未満	1
100k1 未満	49

(3) 事業所等单位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る事 業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--